

えいせい

都庁職衛生局支部ニュース 本庁版

2008年7月29日発行

発行責任者 支部長 小野塚洋行

内線63-210 電話03-3349-1501

2009年度予算編成に対する 衛生2支部統一要求書を提出

7月22日、「2009年度福祉保健局・病院経営本部予算編成に対する衛生2支部統一要求書を両局・本部に提出しました。

国の悪政で国民の生活と健康が脅かされている今、東京都が弱者を守る防波堤になる予算編成を行うべきです。

また、今職場は度重なる人員削減により、恒常的な超勤や過重労働が当たり前のように行われています。心身共に健康で働き続けられる労働条件を確保できる予算・人員が是非とも必要です。

9月2日(火)には2支部合同の予算人員要求闘争学習決起集会を予定しています。組合員の皆さんの御協力を御願います。 要求書(抜粋)は裏面をご覧ください。

署名に御協力下さい

都庁職

「労働時間の短縮を求める

人事委員会委員長宛全組合員署名」

8月6日(水)まで



都区職員生協8月のおすすめ品 8月19日(火)販売

支部室(第1庁舎27階南)で昼休みに販売します。衛生局支部 内線63-210
数に限りがありますので、電話で予約していただくと確実です。

ツアープルーン

(長野県・佐久産直センター)

1パック400g **600円**

果肉は淡黄色で果汁が多く、歯ざわりのいい果実。1粒30gから40gになります。
糖度が17度位で酸味がほとんどありません。



山形県鶴岡市白山・大山地域産

だだちゃ豆

(山形県・庄内産直センター)

1袋250g **350円**



2009年度福祉保健局・病院経営本部予算編成に対する 衛生2支部統一要求書(抜粋)

Ⅲ 労働条件に関わる要求

1 人員要求の基本的考え方

(1) 業務量に見合った定数を確保すること

1) 予算減や事務量減を理由とした画一的な定数削減を行わず、事務執行に必要な定数配置を行なうこと。また、現業職種の切り捨ては行わないこと

2) 新規事業は非常勤職員や外部委託等によらず、業務遂行に十分な定数を確保すること。

3) 科学的で公正な査定基準を設定し、これを公開すること。

4) 充員承認制度を撤廃し、年間を通じて欠員が生じないような事務事業に見合った必要な人員を採用・配置すること。

(2) 産休代替は全ての職種において正規職員で充足すること。

(3) 恒常的な超過勤務や不払い残業(サービス残業)を一掃するために、人員を増やすこと。

(4) 都政における事業の継続性確保と人材育成ができる定数配置とし、計画的に新規採用を行なうこと。

(5) 主任昇格や長期在職などによる機会的人事異動をやめること。

(6) 再任用職員を実質的に1人とカウントする定数管理を行わないこと。

(7) 育児短時間勤務制度を利用しやすくするためにあらかじめ見込んだ人員を適切に配置し、条件整備を行うこと。

2 賃金不払い残業(サービス残業)根絶と恒常的残業の解消

(1) 慢性化している賃金不払い残業について「賃金不払い残業総合対策要綱」及び「指針」(2003年5月厚生労働省通達)に基づいて積極的な解決をはかること。

(2) 労使による残業の現場確認、「超勤パトロール」を行うこと。

(3) 長時間・恒常的残業の縮減にむけ、定数配置増含め具体的な方策を提起すること。

(4) 上記課題を着実に解決するため、「超勤縮減委員会」を実効ある協議の場として定例化し、年2回以上開催すること。

(5) すべての職場で36協定を締結すること。

(6) 非常勤職員の超勤も予算をつけて支払うこと。